

年 組 名前:



おもてなし検定1級合格

下部ホテル・加藤さん 「恥じない接客を」

身延町上之平の宿泊施設「下部ホテル」の従業員加藤杏菜さん(30)＝中央市＝は、接客の技術や知識を問う「日本の宿 おもてなし検定」(同検定委員会主催)で1級に合格した。2年前に同ホテルの従業員が合格したのみで、県内2人目。前回試験の不合格を糧に自身の仕事を振り返り、リベンジを果たした。加藤さんは「1級に恥じない接客をしたい」と意気込む。

〈山本就己〉

「日本の宿 おもてなし検定」は宿泊施設スタッフの技能向上などを目的に2009年にスタートした。これまでに3級に約2万5千人、2級に約7千人が合格。1級合格者はわずか27人の「狭き門」になっている。

加藤さんは増穂商高時代にファミリーレストランでアルバイトをしたことがきっかけで接客業に興味を持った。「も

1級は「おもてなしの知識実務能力を発揮し、後輩を指導育成できるレベル」に達することが合格条件。作文、面接、筆記、湯茶サービスの実技が課される。加藤さんは「1級は自信になる」と喜び、「自分の仕事を見つめ直す機会になった。今後多くの人を笑顔にする接客を目指したい」と話した。

「日本の宿 おもてなし検定」で1級に合格した加藤杏菜さん
＝身延町上之平

(2023年1月31日付 山梨日日新聞18面)

問1

身延町にある「下部ホテル」の加藤さんが、「日本の宿 おもてなし検定」で1級に合格しました。

この検定の合格者数を教えてください。

・1級： 人 ・2級： 人 ・3級： 人

問2

1級の合格には、どのような条件が必要で、どのような試験がありますか。

・条件：

・試験：

問3

今後、加藤さんは、どのような気持ちで仕事をしたいと話していますか。

.....
.....